１． 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

チャリティショップの運営

『ＷＥショップかながわ六角橋店』『ＷＥショップかながわ大口店』をスタッフ、ボランティアの参加で運営しました。市民から寄付された品物の地域内循環をすすめ、その収益で国内外の支援事業を行ないました。

『ＷＥショップかながわ六角橋店』
横浜市神奈川区西神奈川 3-16－1　プロスペリタ樋口１Ｆ
営業時間　週 6 日 10：00～17：00
定休日　日曜、祭日、第 1・3 木曜日

『ＷＥショップかながわ大口店』
横浜市神奈川区大口通 7-3 原橋ビル 1Ｆ
営業時間　週 5 日 10：00～17：00
（水曜　12：00～17：00）
定休日　日曜、祭日、木曜日

＊新型コロナウィルス感染予防対策の緊急事態宣言が発令された事を受け、8 月 16 日～8 月 31 日まで臨時休業とし、9 月営業再開後も 16 時閉店の時短営業にしました。
＊2022 年 1 月のまん延防止適用に伴い 2 月 1 日～2 月 12 日迄臨時休業とし、3 月 31 日まで 16 時閉店の時短営業にしました。

	【六角橋店】	【大口店】
寄付件数	1,656 件	685 件
顧客数	8,111 名	3,964 名
スタッフ	2 名	2 名
ボランティア	30 名	15 名
事業高	6,219,645 円	3,261,740 円
1 日平均売上	26,230 円	12,109 円

1）各ショップの活動

【六角橋店】
・7 月、コロナ感染予防対策をしながら 22 周年記念セールを行いました。入店制限を行いました。
・11 月、クリスマスセールを行い、周年セール同様に、コロナ対策を万全にしてお客さまを迎えました。
・12 月、「コロナに負けるな！ハッピーデー」を企画し、15 日衣類全品半額のタイムセールを行いました。
・例年 1 月に六角橋中学校生徒 2 名の職業体験を受け入れていましたが、昨年に引き続き今年度もコロナの影響で中止となりました。
・昨年はやむを得ず中止した「きものフェア」を 2 月から 3 月に延期しましたが 3/14～3/19 に開催出来ました。
・リメイクチームの講習会は行えませんでした。
・店頭にて廃食油回収のＷＥ油田を、店内では不要携帯電話の回収を継続しています。
・グリーンダウンプロジェクトに参加し、羽毛製品の回収を継続しています。

【大口店】
・コロナ感染対策を行いながらハッピーデーを開催しました。（次表参照）

・7 月 18～21 日、入店の人数制限や消毒・マスク着用を徹底し、20 周年感謝セール開催。今年もお買い求めいただいたお客様にわくわく感を持っていただき 8 月の売り上げにも結び付くよう金券のくじを作成しました。（コロナ拡大の為使用期限は 8 月末から年末までに延ばしました）
・今年も新型コロナウイルスの影響で商店街夜店が中止になりました。
・神奈川中学校生徒 2 名の職業体験もコロナの影響で中止となりました。
・12 月６～８日、コロナ対策を万全にしクリスマスセールを開催しました。
・引き続き店頭にて廃食油回収のＷＥ油田に取り組みました。
・グリーンダウンプロジェクトに参加し、羽毛製品の回収に取り組みました。

(1)　　売上目標達成のためセールなどを企画し、実施しました。

	【六角橋店】	【大口店】
4 月		19 日ハッピーデー　衣料品半額（33,175 円）
5 月		25 日ハッピーデー　衣料品半額（41,095 円）
6 月		18 日ハッピーデー　衣料品 1,000 円以上半額（26,340 円）
7 月	28～31 日＊22 周年セール（283,265 円）	18～21 日 20 周年感謝セール衣料品・雑貨半額（127,285 円）
9 月		6～10 日夏物衣料・ガラス食器半額（41,890 円）
10 月		16 日ハッピーデー　衣料品半額（20,015 円）
11 月	24～27 日＊クリスマスセール(312,765 円)	
12 月	15 日ハッピーデー（60,840 円）	6～8 日クリスマスセール　全品半額(142,140 円)
1 月	7 日＊初売り（107,450 円）	８日　＊初売り（80,805 円） 29～30 日　コート半額
2 月		19 日ハッピーデー　衣料品・雑貨 1,000 円以上（28,295 円）
3 月		8～12 日冬物衣料雑貨半額セール（71,220 円）

(2) 今年度は六角橋店のみ、きものフェアを開催しました。

【六角橋店】	3/14～3/19（17 日休）	売上 114,275 円（90 名）
【大口店】	中止	

２）六角橋店はジモティに掲載しましたが、販売に繋がりませんでした。

３）資源の有効活用に取り組み、ファイバーや見切り品を活用しました。
活動の拠点を六角橋店におき、定例会や各講習会を企画しました。

(1) リメイクチーム（リライフ工房　布）
毎月１回定例会開催はコロナ感染予防の為不定期に実地しました。

(2) リメイク講習を毎月１回(第３金曜日)に、布ぞうり講習を毎月１回（第４火曜日）に実施を企画、計画していましたがコロナ感染予防のため今年度の実施を中止しました。
・リメイク講習：中止
・布ぞうり講習：中止

(3) ＷＥ21 ジャパン・グループ（以下ＷＥ21 グループ）で作るリメイク連絡会に毎年参加してきましたが今年度もコロナ感染予防の為、例会が中止になり WE フェスタの開催も中止になり、今までのような活動が出来ませんでした。

(4) コロナ感染予防への注意行動の大変な毎日でしたがリメイクチームへ３名の参加希望者があり各自が自宅でのリメイク制作に関わりたくさんの作品をショップに提供していきました。

（リメイク品等総売り上げ　115 点　292,400 円）

４）リサイクル（回収）の取組み

(1) 不要携帯電話の回収ボックスを六角橋店に常設し、携帯や小型家電製品に使用されている鉱物資源の回収を行い、資源の循環に取組みました。この金属の売却金は今年度まで BGA に寄付されます。（ＷＥ21 ジャパン回収 152 台 11,693 円：かながわ回収 22 台）

(2) 六角橋店、大口店は「ＷＥ油田」の回収ステーションとして家庭廃食油の回収を行いました。廃食油はバイオディーゼル燃料、肥料、石けん、キャンドルなどにリサイクルされ、今では発電も行い電力供給にもつながっています。

	回数	回収量（Kg）	CO2 削減量（Kg）
【六角橋店】	7	210	546
【大口店】	13	270	702
合計	20 回	480Kg	1,248Kg
参加ＷＥショップ 20 ショップ		3,823Kg	9,940Kg

５）グリーンダウンプロジェクトに参加し、羽毛製品の回収を行いました。

６）ＷＥ21 ジャパン、ＷＥ21 グループ等が開催する研修、イベント情報等に参加しました。

(1) ＪＣＳＮ(日本ﾁｬﾘﾃｨｼｮｯﾌﾟﾈｯﾄﾜｰｸ)による「白書を読む会」に参加しチャリティショップ実態の数値化、白書の成り立ち、制作意義などの説明を受け、各ショップに「チャリティショップ白書」冊子を配布しました。

（６月１７日　参加者３名）

(2) WE21 ジャパン主催「サーキュラーコットン学習会」に ZOOM 参加しました。

（８月２３日　参加者１名）

(3) WE21 ジャパン主催の「サーキュラーコットン説明会」に ZOOM 参加しました。

（３月２９日　参加者１名）

(4) WE フェスタはコロナ感染予防のため今年も中止になりました。

７）かながわ２ショップ間で寄付品のトレード、広報等で連携しました。

８）両店ともに新しいボランティアが入りました。

2021 年度　六角橋店：実数３０名（うち新規３名）、大口店：実数１５名（うち新規３名）

9）『ＷＥショップかながわ六角橋店』『ＷＥショップかながわ大口店』に寄付されたリサイクル品の中で、見切り品やファイバーはエコものセンター（神奈川県綾瀬市小園 717-16）に移送後、ＷＥ21 ジャパンと契約関係にある故繊維業者(株)ナカノ（ファイバー)、(有）飯室商店（ガラス器)、木村管工（株）(陶磁器）と連携し、最後までリサイクルに責任をもちました。

【六角橋店】	292 袋	2,044Kg
【大口店】	112 袋	784Kg
合計	404 袋	2,828Kg

＊1 袋≒7 kg

１０）ショップ連絡会（With）の定例会（月 1 回）は、新型コロナ感染拡大予防のため、今年度も中止となりました。

１１）今年度も新型コロナウイルスに関係した助成金等総額 1,853,267 円を申請し、事業の維持が出来ました。

・緊急雇用安定助成金（厚生労働省）383,201 円（7/7 入金）
・月次支援金（経済産業省）20 万円(11/12 入金)
・緊急雇用安定助成金(厚生労働省） 220,066 円(11/19 入金)
・神奈川県月次支援金　5 万円（1 月 7 日入金)
・事業復活支援金（経済産業省）　100 万円（3/30 入金)
　　合計　1,853,267 円

『ＷＥショップかながわ六角橋店』
【日時】通年（日曜･祭日・第 1・第 3 木曜日は除く）
【場所】横浜市神奈川区西神奈川 3-16-1
【従事者】理事 9 人、スタッフ 2 人、ボランティア 30 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】6,032,065 円
『ＷＥショップかながわ大口店』
【日時】通年（日曜･祭日・木曜日は除く）
【場所】横浜市神奈川区大口通 7-3
【従事者】理事 9 人、スタッフ 2 人、ボランティア 15 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】3,200,590 円

２．アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

1）世界的なコロナ感染症により、国内はもとより、支援先の人々にも大きな影響が今ももたらされています。東日本大震災（2011.3.11.）支援は福島の放射能から身を守る活動に支援しました。また、福島で被爆牛を飼い続ける「希望の牧場」に募金を行いました。

2022年度海外・国内支援助成金　総額　443,243円

≪助成金・寄付金　219,750円　　募金　223,493円≫

＊海外支援助成費　299,121円　　≪助成金・寄付金 109,750円　募金 189,371円≫

支援国		プロジェクト名	金額
コーディリエラ・グリーン・ネットワーク（CGN）	フィリピン	コーヒーのｱｸﾞﾛﾌｫﾚｽﾄﾘｰ栽培による災害に強いコミュニティづくり(クラウドファンィング)	10,000円
幼い難民を考える会（CYR）	カンボジア	幼稚園事業	49,750円
		「村の幼稚園」保育者の給与手当	50,000円
		給食募金	11,420円
日本国際ボランティアセンター　（JVC）	アフガニスタン	＜みらい貯金箱募金＞ 識字アクション	30,000円
日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）	イラク	＜チョコ募金＞ イラク医療支援・シリアの難民・福島の子どもたちの支援	136,951円
	シリア	＜Coffee for Peace＞ シリアの子供たちの命をつなぐ	11,000円

＊東日本復興助成費　144,122円

≪寄付金 110,000円　　募金 34,122円≫

支援先	県名	プロジェクト名	金額
いわき放射能市民測定室たらちね	福島	＜3.11をわすれない＞ たらちね検診センター	57,415円
		店頭募金	28,168円
		たらちね健診センター	42,585円
		こどもドック手帳の作成と配布	10,000円
希望の牧場	福島	店頭募金	5,954円

２）WE21かながわからの参加者はいませんでしたが、コロナ禍の為、支援先視察は中止となりました。

３）各支援連絡会、報告会等に実会場あるいはオンラインで参加し、ＷＥ21グループ、地域NPOとの連携を図りました。

(1) コーヒーの森づくり事業支援連絡会は前年度で終了しましたがクラウドファンディングによる支援をしました。

(2) ＢＧＡ
今年度会議は、県サポで行い（11/11、1/18）メールで意見交換、集約、情報共有を行いました。めぐりケータイ回収（かながわ 22 台）

(4) アフガニスタン支援連絡会
第 1 回 2021 年 6 月 7 日（月）
第 2 回 2022 年 2 月 21 日（月）
この間、JVC との委託契約についての説明および報告等の打ち合わせがありました。
すべてを、ZOOM 会議で行いました。

(5) 森育ちのしょうがパウダー
実会場でのミーテイングは行いませんでしたが、森育ちのしょうがパウダーを使った、しょうがクッキーを WE21 ジャパンのフェアトレード品としてショップで販売しました。

4）フェアトレード品の取り組みを通して、フェアトレードへの理解を深め、現地の人々の生活向上支援に協力しました。　（＊フェアトレード品取組み総額　254,387　円）

(1) 六角橋店では、ネパールの紅茶、カレー、ハーブティーを取り組みました。
（紅茶・カレースパイス・ハーブティー　50 点 22,377 円）

(2) ＷＥ21 ジャパンが輸入元となっているフィリピンの「森育ちのしょうがパウダー」を取り組みました
その収益は住民組織の基金と個人の収入、鍼灸の鍼代等に当てられ、コロナ禍での大切な収入源となりました。
（森育ちのしょうがパウダー　150 本　121,350 円）

(3) パレスチナ難民女性の経済自助活動をしている「アシーラ女性組合」が作るオリーブ石鹸はパレスチナの伝統技法によって作られてきましたが、地球温暖化の影響でオリーブの実の収穫が減少。そのため価格が高騰し、仕入れが難しくなりました。その上、コロナ蔓延のため仕事場にも行けず、止む無く、昨年度組合を解散しました。在庫がなくなり次第、取り組みも終了となります。　（アシーラ石けん 60 個 30,492 円）

(4) フィリピン、コーディリエラ地方のアグロフォレストリーによるコーヒー栽培を支援しています。コーディリエラで収穫された豆を焙煎し、販売しているシサム工房のコーヒーを販売しました。　（シサムコーヒー　14 袋 11,309 円）

(5) 新しくピープルツリーのチョコを取り組みました。
（チョコ 88 個　22,284 円）

(6) WE21 ジャパンの「森育ちのしょうがパウダー」を使った、しょうがクッキーを、取り組みました。
（しょうがクッキー　135 個　46,575 円）

5）キャンペーン等に取組み、支援先の現状を伝えました。
(1) 貧困なくそうキャンペーンに取組み、10 月 15 日の売り上げ（衣料、雑貨）と、10 月 1 日～16 日の店頭募金を「幼い難民を考える会」（ＣＹＲ）に寄付をし、カンボジアの貧困の現状について理解を深めました。
■寄付　61,170 円（寄付金 49,750 円　　店頭募金 11,420 円）

(2)「日本イラク医療支援ネットワーク」(JIM-NET)主催の「チョコ募金」キャンペーンに取組み、チョコレート缶 240 個を 550 円以上寄付して下さった方にプレゼント。絵柄の付いたチョコ缶をとおし、小児がんの子どもたちの事を伝えました。本年度は 1 月 8 日からスタートしました。コロナ感染者増加のために 2 月 1 日～13 日までショップ休業のため２月 14 日から取り組み再開しました。
シリアの子供たちの命をつなぐ目的で、コーヒーにも取り組みました。
■寄付　136,951 円（チョコ募金 132,000 円　　店頭募金 4,951 円）
⧄寄付　　11,000 円（ドリップコーヒー2 個パック 550 円×20 セット）

(3)「３．11 をわすれない」に取組み、11 日六角橋店と 12 日大口店の売上をいわき放射能市民測定室「たらちね」の活動、運営に寄付しました。お客様と福島の現状を考える一日となりました。
■寄付　85,583 円（寄付金 57,415 円　　店頭募金 28,168 円）

・3.11 企画として WE 講座を青葉・都築・みどり・こうほくと共に「希望の牧場」の講演会、上映会を共催し、店頭募金を行いました。
■募金　店頭募金 5,954 円

６）アフガニスタン支援連絡会
JVC（日本国際ボランティアセンター）アフガニスタン支援事業終了（2020 年度末）後の活動を模索検討していた最中、現地タリバン政権の再興で情勢は一変し、支援連絡会の今後の活動も不透明になりました。が、「アフガニスタンにおける識字教育支援活動」のために集めたみらい貯金（オレンジ預金箱）合計 30,000 円（回収：12 人+店頭募金）は、委託業務先のJVC※を通して送金することができましたが、支援金を検討する段階までには至りませんでした。

支援連絡会全体の支援金額は 510,000 円（8 地域 NPO　支援金＋みらい貯金）

※JVC 委託業務料　1 地域 NPO　12,500 円を負担

７）今年度は新たな支援先や支援の方法は、ありませんでした。

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事９名、スタッフ５人（事務局スタッフ１名を含む）　ボランティア 45 人
【受益対象者】福島の市民、アジア等の市民（フィリピン、カンボジア、アフガニスタン、イラク、シリア、パレスチナ、ネパール）
【支出額】725,069 円

３、地域の市民の国際的な意義の自覚を促進する事業

支援活動を推進するため、アジア地域の人々の自立支援に携わっている人や現地で活動している人を招いて「ＷＥ講座（報告会、学習会)」を行いました。
10 月にはオンラインを使って CYR の報告会を開催し、ボランティアと共にカンボジアの現状を学習しました。（１０月４日　参加者２４名）

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事９名、スタッフ５人、 ボランティア 45 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】680 円

４．この法人の事業の広報普及を図る事業

ＷＥ21 かながわの活動を広めるために、次のとおり情報の受発信をしました。

１）「ＷＥ21 ジャパンかながわニュース」は年２回発行し、発行枚数は 2,600 枚です。
・NO.67 号　2,000 枚：６月発行（生活クラブへの折り込み）
・NO.68 号　　600 枚：３月発行

２）チラシの作成、ホームページ等への掲載
(1) セールやコロナ対策をお願いする寄付品募集などのミニチラシを作製し、店内配布や掲示をしました。
■総合計　　1,100 枚

〈六角橋店〉850 枚	7 月 22 周年セールチラシ	200 枚
	11 月クリスマスセールチラシ	300 枚
	12 月年末・初売りミニチラシ	250 枚
	3 月きものフェアミニチラシ	100 枚
＜大口店＞250 枚	7 月周年セールチラシ	100 枚
	12 月クリスマスセールチラシ	50 枚
	12 月年末・初売りミニチラシ	100 枚

(2)かながわのホームページのショップブログをタイムリーに更新できました。

３）支援先のパネルやポスター、チラシ、リーフレットなどを使い、ショップ内の広報に活用しました。

４）会員に対し、「ＷＥ21 ジャパンかながわだより」を発行しました。

５）タウンニュースに広告を載せ、広く地域に周知し、取材を通じて沢山の記事が掲載(＊)されました。また、生活クラブの片付け講座ニュース裏面にもったいないチラシを載せました。

・「新年のごあいさつ」欄に広告を載せました。　(1 月 1 日元旦号)
・「暑中見舞い」欄に広告を載せました。　(7 月２９日号)

＊貧困なくそうキャンペーンの記事が掲載されました。(9 月 23 日号)
＊チョコレート募金の記事が掲載されました。　(1 月 13 日号)
＊3・11 を忘れない企画と WE 講座の記事が掲載されました。(3 月 10 日号)

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事 9 名、スタッフ 5 人、ボランティア 45 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】13,309 円

５．その他、第３条の目的達成に必要な事業

１）平和な社会の構築に向けての活動
WE21 ジャパンのビジョンにのっとり（P2 参照）2 月のロシアのウクライナへの侵攻反対を表明する為、両ショップに侵攻反対のポスターを掲示しました。

２）多文化共生の地域づくり
(1)「神奈川区に多文化共生をすすめる会」に団体として参加しています。
(2)神奈川区内の外国籍住民に身近な行政サービスや NPO 団体が行なう支援について伝えるリーフレットを作成しました。
(3)神奈川区地域振興課主催のラウンジ検討会に、「神奈川区に多文化共生をすすめる会」からもメンバーとして出席しました。

３）他団体及び地域との連携
(1) コミュニティオプティマム福祉マネージメント・ユニットかながわ（以下ユニットかながわ）に参加し、神奈川区内の生活クラブ運動グループとの連携を図りました。
(2) 神奈川区 区民活動支援センター主催の学習会に参加しオンラインの活用を学びました
(3) ユニットかながわのフードバンク学習会や総合事業の学習会に参加しました。
(4) 横浜市神奈川区社会福祉協議会に登録し、ボランティア保険加入、会議室利用と活用しました。

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事 9 名、スタッフ 5 人、 ボランティア 45 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】0 円

６．組織活動

１）会員目標は 50 名でしたが、43 名に減ってしまいました。

２）理事会
(1) 今年度も事業活動の執行に対し、責任を持って活動しました。
(2) ショップスタッフとともに、ショップ間の連携を図り業務運営の充実を図りました。
(3) 理事会を毎月１回以上開催しました。
(4) 議長を理事が担いました。

３）事務局
(1) 事務局作業をはじめ、打合せやスタッフの作業に事務所が活用されました。
(2) ２０２６年１月の認定 NPO 法人更新に向け、常時資料の整理を行いました。

４）ショップスタッフミーティング
(1) 毎月１回開催し、各ショップの課題解決に取組み、理事会への提案などショップの連携を図りました。
(2) 理事会へ提案し、理事会で決定したことを実現しました。
(3) ＷＥ21 グループにおける物流ルールを共有しました。

５）リメイクチーム（リライフ工房　布）
毎月１回定例会を開催しリメイクチーム活動の報告、予定などを共有してきましたが今年度はコロナ感染予防のためリメイク講習会、布草履講習会、その他の講座の企画・準備をすることが出来ませんでした。

６）かながわ支援チーム
今年度は支援先担当者が理事メンバーのみだったので、支援チームとしての会議は行いませんでしたが、各担当者が支援先の報告会等に積極的に参加し、理事会にて情報共有し、支援金などの討議も行いました。

７）ボランティアミーティング
コロナ感染予防のため毎月の開催は出来ませんでしたが、多くのボランティアの参加がありました。活発な意見を頂き、活動の理解を深め、ショップ運営を円滑に行うことが出来ました。理事会での方針をボランティアと共有しました。

８）ＷＥ21 ジャパン、ＷＥ21 グループとの連携
メーリングリスト等を使って、情報の共有を行いました。

９）ＷＥ21 ジャパン、ＷＥ21 グループ等の会議、研修、講座、イベント等へ参加し、運営に役立てました。
(1) グループ会議に参加し、組織運営に役立てました。
(2) WE21 ジャパン主催「広報研修会」に参加しました。　(11 月 22 日　参加者２名)
(3) シャプラニール主催「児童労働反対月間オンラインイベント」に ZOOM 参加しました。
（６月２５日　参加者１名）
(4) WE21 ジャパン青葉、港南、こうほく、ほどがや、よこすか主催 WE 講座「子どもを見守り育てる地域の力」に ZOOM 参加しました。　（１０月２日　参加者１名）
(5) WE21 ジャパン青葉主催 WE 講座「いわき放射能市民測定室たらちね」報告会に ZOOM 参加しました。　（２月５日　参加者３名）
(6)「いわき放射能市民測定室たらちね」が主催する報告会に ZOOM 参加しました。
（３月５日　参加者３名）
(7)「インド報告会」に ZOOM 参加しました。　（３月６日　参加者１名）
(8) WE21 ジャパン主催「今日はフェアトレードの日！？」に ZOOM 参加しました。
（３月１３日　参加者２名）
(9) WE21 ジャパン青葉主催 WE 講座「希望の牧場：牛飼いの吉澤正巳さんの講演、板倉誠監督～希望へのいのち～上映会」に共催し、実会場とオンラインのハイブリットでの開催に、会場６５名、ZOOM６７名計１３２名が参加しました。
（３月２６日　実参加４名、ZOOM 参加８名）

１０）今年度は就労支援の受け入れはありませんでした。

１１）インターンシップの受け入れはありませんでした。

１２）地域の中学生職業体験は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事９名、スタッフ５人、 ボランティア 45 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】423,685 円

７．その他

「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」（イオン東神奈川店）に登録することで、WE21 かながわの支援 BOX に入れられた黄色いレシートのお買物合計金額の 1%がギフトカードで贈呈され、備品等の購入に活用しました。　（贈呈金額　13,700 円）